

第 24 期 事 業 報 告 書
(2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日)

法人の名称 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

1 事業の成果

第 24 期は「コロナ明け」といえる状況となったが、全主催事業への参加者数はのべ 2,427 名と最多であった昨期から約 9%減少した（21 期 2,270 名→22 期 2,459 名→23 期 2,669 名）。要因としては、「もったいないから竹細工」（816 名→737 名）と「トンボとり大作戦」（525 名→380 名）の減少が影響している。もっとも、最近 5 期分の平均参加者数 2,429 であるから、昨期が多かったといえるだろう。

「はまどま」に関しては、2023 年 6 月からは 2 代目のコーディネーターが入り、「はまどま」を利用してもらう際の基本的な考え方やルールづくりを進め、2024 年 4 月に案内情報を取りまとめてウェブページに掲載した。「はまどま」の利用を促すためには、興味関心を持っている人に向けた適切な情報発信が課題である。

収支については、受託事業収入が堅調なことから 10 期連続で黒字となった。今期も、よこはま夢ファンドを通して寄付を集めて助成金として活用できていることも財務状況の安定化に役立った。一方、運営メンバーの流動性が低く、高齢化が進んでいることから、財務基盤が確かなうちに将来の環境・社会・経済状況の変化を見通し、計画性を持って「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事づくり」をすすめる必要がある。

2 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

ア ヤマ事業

- ・内 容：①NORA の山仕事（川井緑地の樹林地保全）、②竹を活かす山仕事（中井町での竹林保全）、③よこはま里山レンジャーズ（横浜市内の環境保全ボランティアのコーディネート）〔連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会〕、④都市の里山資源の活用推進事業（グリーンウッドワークの推進）〔令和 5 年度「緑の募金」公募事業〕、⑤山道具の安全使用の推進〔提携：株式会社シンコー〕、⑥まちの近くで里山をいかすシゴトづくり／環境 NPO 運営スタッフ懇談会、⑦安全で楽しい森林の保全・利用を指導できるリーダー養成事業（令和 5 年度「緑と水の森林ファンド」、主催：モリダス）
- ・日 時：通年
- ・場 所：①④川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）、②中井町など、③横浜市内 4 か所、⑥オンライン、⑦川井特別緑地保全地区、にいはる里山交流センター（緑区新治町）、長池公園（八王子市）など
- ・従事者人員：4 人
- ・受益対象者：樹林地の保全・活用に関心のある者 708 人（①405 人、②76 人、③35 人、④45 人、⑦147 人）
- ・支 出 額：1,973,244 円

イ ノラ事業

- ・内 容：森と畑と音楽と（厚木市・伊勢原市での農地保全と里山文化の発信）、城山里山サポーター（相模原市での農地保全）〔東京ガス「森里海をつなぐプロジェクト」〕
- ・日 時：通年
- ・場 所：厚木市七沢、相模原市緑区小松・城北地区
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：農地の保全・活用に関心のある者 475人
- ・支 出 額 144,100円

(2) 持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

ア ムラ事業

- ・内 容 ①NORA 野菜市、②生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会、③もったいないから竹細工（竹かご教室・竹細工工房）、④はぶすぱラボ、⑤はまどまで土間仕事、⑥『食べもの通信』読者会、⑦里山の恵み・伝統文化と出会う上映会〔共催：郷土映像ラボラトリー〕、⑧はまどま諸々のほか、はまどま改革（横浜市市民活動推進基金「よこはま夢ファン」）、地域連携・ネットワーク活動など
- ・日 時 通年
- ・場 所 はまどま（南区宿町 2-40 大和ビル 119）
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 持続可能な地域コミュニティづくりに関心のある者 864人（③737人、④59人、⑤12人、⑥56人）
- ・支 出 額 2,905,925円

イ ハレ事業

- ・内 容 設立 20 周年記念事業 | ①プロジェクト紹介動画、②絵本『でんえんとし さとや まっ子』活用)
- ・日 時 通年
- ・場 所 オンライン
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 里山保全・地産地消に関心のある者 約 200人
- ・支出額 0円

(3) 里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

ア イキモノ事業

- ・内 容 トンボとり大作戦（トンボはどこまで飛ぶかフォーラム）
- ・日 時 6月～10月
- ・場 所 京浜臨海部
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 生き物に関心のある者 380人

・支出額 0 円

イ 広報事業

- ・内 容 ウェブサイトの更新、「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信、SNS (Twitter・Facebook・Instagram・YouTube) による情報発信、年間報告書の作成
- ・日 時 通年
- ・場 所 インターネット空間ほか
- ・従事者人員 10 人
- ・受益対象者 里山に関心のある者 閲覧頁数 10,841 (月平均)
- ・支出額 56,862 円

(4) 里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

ア 協働・委託事業

- ・内 容 ①ビオトープ整備のアドバイザー派遣 [委託：横浜市みどり環境局環境活動事業課]、②長浜公園トンボ池等管理、野島公園ビオトープ水路環境調査 [委託：(公財)横浜市緑の協会]、③本牧市民公園、根岸森林公園トンボとり大作戦 [委託：(公財)横浜市緑の協会、横浜植木(株)]、④森づくりボランティア体験事業 [委託：横浜市みどり環境局環境活動事業課]、⑤道具の使い方研修・森づくり安全管理研修・入門講座企画 [委託：横浜市環境活動支援センター]、⑥里地里山入門講座企画 [委託：横浜市みどり環境局農政推進課] など
- ・日 時 通年
- ・場 所 ①横浜市内の小中学校のべ 25 校、②長浜公園、野島公園(金沢区)、③本牧市民公園、根岸森林公園(中区)、④新治市民の森、綱島市民の森など市内 13 か所、⑤環境活動支援センター、⑥寺家ふるさと村など
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 里山に関心のある行政・企業・市民等 (④177 人)
- ・支出額 8,473,129 円

イ 委員・講師派遣等

- ・内 容 委員、講師・執筆など
- ・日 時 通年
- ・場 所 各地
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 里山に関心のある行政・企業・市民団体等
- ・支出額 129,607 円